みんな集まれ、今年も面白いぞ！

「みの～れに来て物の見方が変わった。 色々な話題に触れることが出来るので楽しい」と語る井川さん

小美玉さくらフェスティバル
みの～れ実行委員会委員長

井川 徹也 さん

みの～れと共に生活するスタイル
Minole Life のすすめ No.45

春の足音が少しずつ近づいて来ました。福寿草やクリスマスローズの花たちも柔らかな日差しが心地よさそうです。三寒四温のこの時期は風邪などひかないようにしたいですね。あとひと月位でさくらの季節がやってきます。ここ、四季文化館「みの～れ」の周辺も一面桜色に染まります。今年も『小美玉さくらフェスティバル』が盛大に開催されます。今回は小美玉さくらフェスティバルみの～れ実行委員長を務める下吉影地区にお住まいの井川徹也さんを取材する。

共通の目的を持って創りあげる楽しみ

井川さんは過去5回開催された「さくらフェスティバル」の実行委員長の中で歴代最年少の26歳。小美玉農業青年クラブに入っていて知人の紹介でみの～れと関わりを持つようになった。みの～れに足を運ぶようになって3ヶ月。「前からここは何だろう・・・どんな活動をしているんだろう、と思って通り過ぎていたけど、来る機会がなかったところ」と話す。

井川さんは小美玉市で唯一栽培している「きいろサラダからし菜」やほうれん草などを作っている。きいろサラダからし菜はサラダやパスタ料理などに使われる。「親に恩返しをしたくて農業をやることにした。2月になっても天候が定まらず大変だ」と話す。趣味は釣りで、よく海釣りに出かけるそうだ。「仕事が終わって5日行けることから週4、5日行けることもある。50～60センチのヒラメを釣ったこともあり、釣れたら面白いですよ」と話す。また、「小学生の頃からサッカーを始めて13年くらいサッカーをやっていたので最近の日本代表の活躍には感動した」という。

4月2日に開催となる小美玉さくらフェスティバルの中で、井川さんは「風の広場」を担当する。「スライムやスーパーボール作りが体験出来ます。家でも簡単に出来るものを選びました。また、今の子どもたちはゲーム等で遊ぶことが多くなってしまったので是非、作る楽しさや喜びを感じてもらえたら・・・と思ってプラネタリウム作りも企画しました。人数には限りがありますが良いものが出来ると思いますので楽しみにしていてください」と井川さんは話す。

また、「最初から実行委員長をやるとは思っていなかったので、なったときはびっくりしが、新しい出会いや共通の目的を持って創り上げていく楽しみを見つけることが出来た。人前に出るようになって自分が変わっていくのが分かった。当日は晴天を祈るのみです」と話してくれた。

今年の小美玉さくらフェスティバルのテーマは「みんな集まれ、今年も面白いぞ！」です。「家族揃ってみの～れに集まり、一日楽しいひとときを過ごしてほしい。皆さんの喜ぶ顔を見たら今までの苦労が吹き飛んでしまうと思う」と話す。「小川・美野里・玉里が合併して一つの市になったので、3つの地域の人たちが沢山来てくれることを望んでいます」と加えた。

満開のさくらの下で暖かな風に吹かれて楽しい一日を過ごしたいですね。

（藤田佐知子）